



< 躍進する兼業事業会社 >

土木一式工事のP点(総合評定値)の順位表を見ていると、P点が大きく上がってP点順位が高くなっている会社があります。この中には、単純に前期に比べて当期の利益が増えて点数が上がっている会社もありますが、今回の「経審」の評価項目の改正によって大きく点数が上がった会社も見受けられます。そのひとつに、建設業を兼業事業としている会社や土木一式工事以外の、例えば、電気工事が主力の会社が土木一式工事でも点数が高くなっているケースがあります。

今回の改正では、「完工高重視から利益、自己資本重視へ」と評価の比重が移り、また、評価における絶対額の採用がひとつの特徴となっています。そのため、工事高が小さくとも自己資本額・平均利益額評点(X2)、経営状況評点(Y)、その他の審査項目(W)で点数を上げることにより、従来より、P点(総合評定値)が高くなる会社もあります。たとえば、建設業の完成工事高が全体の売上高の10%にも満たないある大会社では、土木一式工事の年間平均完工高評点(X1)、技術力評点(Z)では点数を下げましたが、自己資本額・平均利益額評点(X2)、経営状況評点(Y)、その他の審査項目(W)で大きく点数を上げて、土木一式工事のP点(総合評定値)が再審査で900点台から1,200点台になりました。また、電気工事をメインとする建設会社でも、同様に、土木一式工事で、P点(総合評定値)が通常審査で900点台から1,100点台になりました。いずれの会社も、大きな自己資本と利益を武器に自己資本額・平均利益額評点(X2)と経営状況評点(Y)の絶対的力量指標である営業キャッシュ・フロー(X7)、利益剰余金(X8)で高い得点を獲得しています。このような事態は予想されていたので、建設業専門の会社の財務状況を勘案して平均利益額の上限を300億円、自己資本額の上限を3,000億円と設定し、兼業会社の評価が高くなりすぎないようにしたようです。(このこ

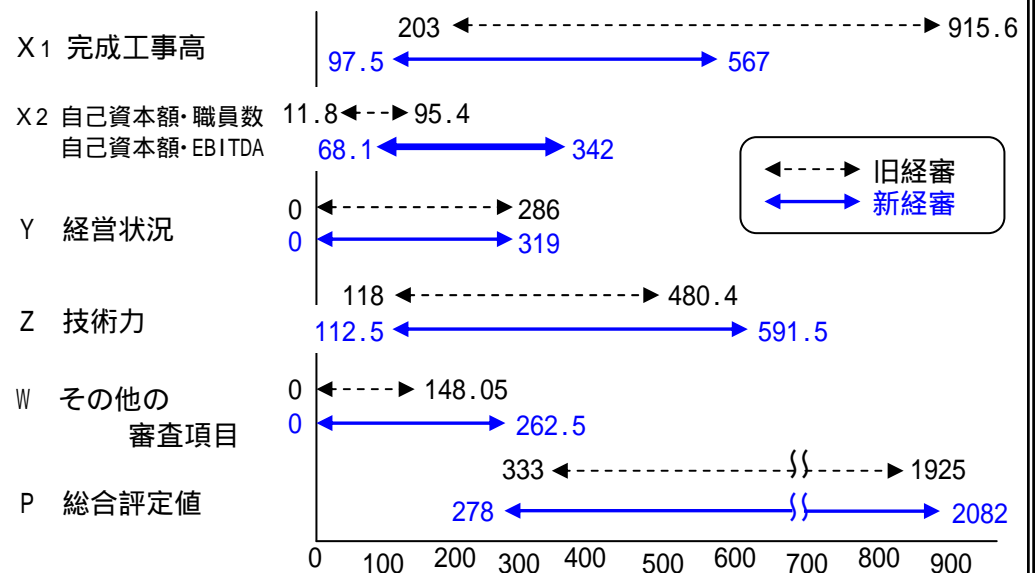
とに関しましては、建設工業新聞2007年6月26日号参照(ワイズ公共データシステム株式会社ホームページ経審・入札制度関連ニュースより)さすがに、建設業専門の会社の上位クラスより点数が高い事態は避けたいということですが、それより下層のクラスではこの影響が出ています。

このように、完成工事高評価への偏重の是正という目的は達成できましたが、いわゆる、建設業「らしさ」の評価が小さくなった感は否めません。この点に関しては、入札制度における総合評価方式にその役割がゆだねられて、「経審」の役割は従前よりも小さくなっていくとも考えられます。しかし、総合評価方式は外部からはよく見えません。このよしあしは別として、「経審」を受ける企業としては、この事実に着目して、建設業だけにとらわれず、もう少し広い視野で自社の経営を考える必要があることを示唆しています。利益は建設業から獲得しなくてはならないわけではないということです。

総合評定値(P)や経営状況評点(Y)は、公共工事における企業評価の問題だけでなく、それ以外にも利用されることもあるだけに、「技術と経営に優れた企業」の評価の開示の難しさを感じますが、経営者がそのことにくじけないでこの環境に対応する企業の育成に努めてほしいと願っています。

W I S E N E T 編集部 松村 清(税理士)

< 評点の上限値・下限値 P点換算点数 >



P点において、完工高(X1)の比重が下がり、自己資本額・平均利益額(X2)の比重が高くなった。
自己資本額・平均利益額(X2)、経営状況(Y)で絶対額を採用。

重要 Wise FAXNET メール配信移行のお知らせ

平素よりご愛読頂き誠にありがとうございます。本 FAXNET ですが、本年7月号よりメールでのご案内に完全移行させて頂くこととなりました。配信登録頂いた方々には、経審や建設業関連ニュースをいち早くお届けしております。大変お手数ではございますが、この機会に是非弊社 HP よりご登録頂くことをお奨め致します。尚、既にメールアドレスをお知らせ頂いている方につきましては、順次弊社にてご登録させて頂きます。何卒ご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

送信先宛名変更(右欄に変更後の宛名をご記入ください)

今後「Wise FAXNET」送信不要

FAX 送信はこちらまで **0269-65-4745**

資料・デモをご希望の方は、下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名とご担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名

ご担当者様

ご役職・部署名

TEL

FAX

今後メールでの送信をご希望される場合は下記にアドレスをご記入下さい。

e-mail

「Wise FAXNET」は建設業業務支援ソフト「Wisdom(ウィズダム)」ユーザー様、ワイズ公共データシステム(株)に経営状況分析申請を頂いたお客様、又は資料のご請求を頂きましたお客様及び研修会で名刺交換をさせていただきました皆様等に経審に関する最新情報、経審書類作成のワンポイントを紹介、月一回の発行となります。内容に関するお問い合わせ、バックナンバーの請求(99年2月号~)は弊社までご連絡下さい。弊社ホームページよりバックナンバーのダウンロードができます(1月号は1月30日より可能)。ログインIDは「1921」です。入力後、[ログイン]ボタンをクリックして下さい。ワイズホームページ <http://www.wise.co.jp/>